



道

2023年2月17日
(第92号)

「自宅で倒れて病院に運ばれました。今、ICUに入って治療を受けています」。息子さんから電話があったのは、夜十時をどれぐらい過ぎていただろう。「どんなに遅くなってもいいですから、様子をお知らせください」と頼んで電話を切った。それから時間が長かった。いろいろ思い出す。昼間、血圧が高いような気がする話していた。数日前から疲れ気味で、「いつもと違ってなんかおかしい」という意味のことを言っていた。軽くみていた。責任者の立場で多くの仕事をこなし、研修レポートなどを書いている、その体内で病魔が忍び寄っていたのだ。

▼次の日に漬けようと思っていた天日干し白菜三個。漬け終わった午前零時過ぎに、待っていた電話着信音が鳴る。軽い麻痺が残るかもしれないが、元気だ、話もできるし、手足も動かせる。倒れてすぐに迅速な対応をしたのがよかった。担当医はそう説明したと聞く。▼スマホをよく見たら、九時過ぎに娘さんからも連絡が入っていたことが分かる。最初の電話で息子さんが「林さんに早く知らせたかった」と話していたのを思い出す。▼僕にとってどれくらい大事な存在なのかということに染みて知る。▼淹れたお茶と、読めそうな本数冊を持って病院に行く。読み終わった本を受け取る。ガラス越しに目を合わす。退院したら白菜漬けを食べてもらおう。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp



林 道 也



▼この〈道〉通信は、「LINE 公式アカウント」でも配信します。URL、または、左のQRコードから「友だち追加」していただければ、あなたの「LINE」に届きます。▼ホームページにも掲載しています。